

萩・石見空港マラソン全国大会

第12回大会 令和元年（2019年）10月20日 （1）

令和元年（2019年）10月20日（日）、空港の滑走路を走る、第12回萩・石見空港マラソン全国大会（島根県益田市、同市教育委員会、同市体育協会主催）が益田市内田町の空港周辺のコースであり、国内外から参加したランナーが健脚を競った。

普段は入れない滑走路や駐機場を走れるのが魅力の大会で、萩・石見空港の滑走路がコースに組み込まれているマラソン全国大会。秋晴れの空の下、10キロとハーフマラソンの部で合わせて2,334人の参加者が、滑走路を走る爽快感を味わった。

大会は、石見空港で東京便を運航している全日空が地域貢献のために発案して始まり、空港の利用促進や地域の観光促進を狙いに開催され、今年で12回目。近くの公園から午前9時前後にスタートし、航空機が発着する前の時間帯に滑走路を約3キロ回って再び公園に戻るコースで、現役の滑走路を走ることができる珍しい大会。箱根駅伝で「山の神」と呼ばれた柏原竜二さんが10キロの部にゲストランナーとして参加しました。

近畿益田会はふるさと益田の応援団として、第12回 萩・石見空港マラソン全国大会に協賛しました。次回、第13回大会は令和2年（2020年）10月18日（日）に開催されます。

